

## 4 小論文について

### (1) 小論文で求められるもの

- ① 理解力：問題の指示、資料の内容を読んで理解する力。
- ② 思考力：問題文から課題を見つけ、論理的・多角的に考える力。
- ③ 表現力：自分の考えを論理的に整理し、説得力のある文章を書く力。

### (2) 小論文問題の出題形式

#### ① テーマ型小論文

資料はなく、テーマ・課題のみを示すもの。「～についてあなたの考えを述べよ」など主題だけが示され、それについて自分の考えや知っていることを総合して論述する。

→ 私立大、短大に比較的多い。

[ポイント]

- ◆ 志望動機や自分自身について表現する。
- ◆ 社会問題などについて自らの意見を論述する。

#### ② 課題文型小論文

ある程度まとまった分量の文章を読んで論述するものや比較的長い資料文を読み、その要約やそれに対する意見を論述する。

→ 小論文入試の主流である。資料要約と意見論述の構成が多い。  
情報処理能力が問われる。

[ポイント]

- ◆ 文章をよく読み、筆者の主張や論点を正確につかむ。
- ◆ それに対して具体例を交えて自分の考えを論述する。

#### ③ データ型小論文

資料文の中の図表やグラフのデータを客観的に分析し、読み取った内容を論述する。読み取りのポイントは「変化」と「比較」である。

→ 社会科学系、教育学系、理・工学系での出題が多い。

[ポイント]

- ◆ 各種の統計資料などから客観的な事実を導き出す。
- ◆ 観察・実験データを分析し仮説や結論を読み解く。
- ◆ なぜ数値データが提示されているのか背景を探る。

#### ④ 融合型小論文

課題文と統計資料やグラフなどの組み合わせに基づいて論述する。

#### ⑤ 教養型小論文

意見を述べるのとは違い、受験者の知識教養の中に、事柄や言葉の理解があるか

を問う形式。

### (3) 最近の傾向

#### ① 政治・経済

経済学部や法学部などの社会科学系統での出題が圧倒的に多い。志望学部に合わせて、必要なテーマやキーワードを選別し、基本的な情報や問題点を整理しておく必要がある。

経済の分野からは、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）をめぐる問題、企業の社会的責任やグローバル時代の企業経営のあり方など問われている。政治の分野からは、民主制、消費税率の引き上げ、景気対策、地方行政、一票の格差の問題などが出題されている。また、法律の分野からは、死刑制度存続の是非、成人年齢の引き下げ、国民の司法参加についてなどが問われている。

#### 【キーワード】

政治参加の新たな流れ、憲法改正をめぐる動き、地方自治と地方分権  
司法制度改革、領土問題、財政危機、円高と円安、F T AとE P A、企業倫理  
規制緩和と自由化、震災復興

#### 【推奨書籍】

「財政のしくみがわかる本」(神野 直彦著 岩波ジュニア新書)

#### ② 情報・メディア

社会科学系統、人文科学系統での出題が非常に多い。

情報ネットワークの発達が社会に与えた影響や今後の展望、ネット社会の到来によるコミュニケーションの変化などを論じさせる出題が多い。具体的には、インターネット社会の功罪、デジタル・ディバイド、情報教育、コンピューターウィルスとセキュリティ、電子書籍、フェイスブックやツイッターといったテーマでの出題が見られる。例年同様、新聞やテレビなど、従来のマスメディアの現状や今後、その情報発信のあり方などを考えさせる出題も見られる。

#### 【キーワード】

インターネット、I C T(情報通信技術)、携帯電話、ソーシャルメディア  
マスメディア、I T革命、サイバー犯罪、メディアリテラシー、知的財産権  
ユビキタス社会、情報倫理、情報発信、デジタル・ディバイド、セキュリティ  
電子書籍、個人情報保護法

#### 【推奨書籍】

『ケータイ時代』を生きるきみへ」(尾木 直樹著 岩波ジュニア新書)

#### ③ 生活・社会

社会科学系統での出題が最も多い。新聞やテレビのニュースを通して、社会の動きに対し常にアンテナを張っておくことを心がける必要がある。志望する学部・学科との関連、過去問の出題傾向などを考慮しながら、積極的な情報収集に努めてほしい分野である。

テーマ別には、食生活の変化や食の安全、震災以降の防災のあり方を問うものか



ら、引きこもりなどの少子化時代の子ども・若者をめぐる社会問題、さらには格差社会や男女共同参画社会、自殺対策に関するものまで、例年同様バラエティに富んでいる。公共空間におけるマナーやワークライフバランスに関する出題も見られる。

【キーワード】

女性の社会進出、育児・介護休業法、少子化、雇用をめぐる環境、格差社会  
ワーキングプア/非正規雇用、社会生活の安全・安心、引きこもり、児童虐待  
男女共同参画社会、無縁社会、管理社会、フリーター、ニート、自殺、食育  
若者像の変容、少年犯罪、防災、PTSD（心的外傷後ストレス障害）

【推奨書籍】

「若者はなぜ3年で辞めるのか？」（城 繁幸著 光文社新書）

④ 国際問題・異文化理解

人文科学系統での出題が最も多く、ついで社会科学系統での出題が多い。志望分野により、国際問題を重視すべきか、異文化コミュニケーションの話題に注目すべきかは自ずと異なる。どちらに力点を置くべきか見極めたうえで入試対策を行う必要がある。

グローバル社会における異文化理解のあり方をはじめ、世界共通語としての英語、人口増加と食料危機、イラク戦争後の国際情勢など、さまざまなテーマの出題が見られる。国際貢献のあり方や外国人労働者の受け入れといった、少子高齢化が進む日本社会の国際化を考えさせる出題にも注意が必要である。尖閣諸島をめぐる日本と中国の対立についても出題が見られる。

【キーワード】

グローバリゼーション、イラク戦争後の世界情勢、世界金融危機・世界同時不況  
テロとの戦い、人権の尊重と民主化運動、核抑止論、日本の対外援助、食料問題  
観光振興、外国人の労働問題、人口増加と食料問題、TPP、国際連合、南北問題  
核兵器問題、アラブの春、欧州危機、NGO（非政府組織）、文化相対主義

【推奨書籍】

「異文化理解」（青木 保著 岩波新書）

⑤ 日本語・日本人

社会科学系統での出題が最も多く、次いで人文科学系統、教育・教員養成系統での出題が多い。この分野をめぐる議論には定番と呼べるものが非常に多い。まずはそれらの議論を知ることから始めるとよい。

若者言葉や敬語、横書き多用などに見られる日本語の変化や乱れ、日本社会の特性をとらえた多彩な識者による日本論・日本人論からの出題、日本人の美意識、アニメやマンガ、コスプレといったサブカルチャーなど、「日本」に関する多様なテーマでの考察を求める出題が多い。「ウチとソト」「世間」「タテ社会」など、日本社会の特性を示すキーワードの理解があるかないかで、解答時の考察や答案の完成度にかなり差が出ることが予想される。

【キーワード】

日本語の変化と乱れ、日本人の幸福観、タテ社会、モラル崩壊、サブカルチャー、敬語表現、メディアの多様化とその影響、日本人と自然、世間、恥の文化、「ウチ」と「ソト」

【推奨書籍】

「日本人の誇り」(藤原 正彦著 文春新書)

⑥ 教育

例年どおり、教育・教員養成系統での出題が圧倒的に多いが、人文科学系統や社会科学系統でもかなりの出題が見られる。社会の動きに呼応して教育の形は年々変化している。変化の向こうに見え隠れする教育の本質をつかみとる必要がある。いじめや不登校、理科離れなど、教育現場が直面するさまざまなテーマを考えさせる出題が多い。特にいじめに関しては近年再び社会問題化しており、例年よりも出題が目立っている。ほかにも学習指導要領、これからの英語教育、読書の効用、教育における地域や家庭の役割、生涯学習などに関する出題が見られる。教員をめざす受験生を念頭に、学習の意義やクラス運営について問う出題もある。

【キーワード】

学校現場をめぐる問題、大学全入時代、教育の情報化、生涯学習、学習指導要領  
キャリア教育、国際学習到達度調査(PISA)、不登校、「教育基本法」改正  
学力低下と脱ゆとり教育、特別支援教育、教員免許の制度改革、理数教育  
小学校の英語教育、中高一貫教育校、コミュニケーション能力、体罰とその防止  
サポート校とフリースクール、幼児教育

【推奨書籍】

「日本の教育格差」(橘木 俊詔著 岩波新書)

⑦ 福祉

社会科学系統での出題が最も多い。問題点を整理して、制度としての福祉に対する自分の考えを明確にしておく必要がある。

生活保護をはじめとする日本の社会保障制度をめぐる問題、高齢化社会における高齢者のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)や家族による介護、障害者を取り巻く社会状況、バリアフリーやユニバーサルデザイン、高齢者の孤独死に関する出題が見られる。また、新しい取り組みとして構想されているベーシックインカム制度導入の是非など社会保障制度そのものを問い直させるような出題もある。

【キーワード】

超高齢化社会、社会保障制度、国民健康保険制度、公的年金制度、高齢者の生活  
介護をめぐる問題、児童福祉、バリアフリー

【推奨書籍】

「持続可能な福祉社会」(広井 良典著 ちくま新書)

⑧ 環境

理・農・水産・獣医学系統での出題が最も多い。環境問題に関する最新の情報と



確かな基礎知識をもとに、現実的で建設的な解決策を示せるようにしておく必要がある。

地球温暖化、生物多様性、循環型社会、森林破壊、砂漠化、海洋汚染、クリーンエネルギーとしての自然エネルギーやバイオ燃料などに関する出題が見られる。昨年に続き、福島第一原子力発電所の事故と絡めて、環境問題を多様な観点から考えさせようとする出題が目立っている。放射性物質による健康被害や環境汚染への対策もテーマとなっている。

【キーワード】

オゾン層の破壊、地球環境問題、地球温暖化、生物多様性、循環型社会  
持続可能な開発、放射性物質と環境汚染、京都議定書の延長をめぐる議論  
森林減少と砂漠化、大気汚染・水質汚染、

【推奨書籍】

「あなたが世界を変える日

ー 12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ」

(セヴァン・カリス＝スズキ著 学陽書房)

⑨ 医療看護

医・看護学系統での出題が圧倒的に多い。日本の医療を取り巻く状況やその年に目だった動きなどをよく押さえ、柔軟に対応できるようにしておく必要がある。

テーマ別には、医療従事者と患者のコミュニケーション、終末期医療、がん医療と告知、生活習慣病と予防医療、チーム医療、脳死と臓器移植、IPS細胞などの再生医療、出生前診断など、その出題内容は多岐にわたっている。また例年同様、理想の医療従事者像やあるべき医療の姿についての意見を求める出題や、医療倫理に関する出題も見られる。

【キーワード】

遺伝子診断、生殖医療、バイオエシックス、インフォームド・コンセント  
メンタルヘルス、医療機関・医師不足問題、臓器移植、出生前診断、脳死  
安楽死/尊厳死、緩和ケア、予防医学/プライマリーヘルスケア、医療過誤  
リハビリテーション、生活習慣病、診療報酬制度、院内感染、薬事法の改正  
薬害問題、感染症、現代の病、終末期医療

【推奨書籍】

「医療の倫理」(星野 一正著 岩波新書)

⑩ 科学技術

理・農・水産・獣医学系統・工学系統などの理系学部での出題が多い。

テーマ別には、遺伝子組換え、クローン技術などのバイオテクノロジーや再生可能エネルギー、科学技術の進歩と現代社会、科学論、ロボット、ナノテクノロジー、メタンハイドレート、iPS細胞のなどがあげられる。原発事故でこれまでのような活用が難しくなった原子力エネルギーと絡め、将来のエネルギーや科学技術そのものについての考察を求める出題も見られる。

## 【キーワード】

原子力発電、バイオテクノロジー、再生可能エネルギー、放射能、宇宙開発  
ロボット開発、ナノテクノロジー I P S 細胞、クローン技術、ヒトゲノム解読

## 【推奨書籍】

「ロボット 21 世紀」(瀬名 秀明著 文春新書)

### (4) 指導方法の例

- ①小論文の基本教材は、業者のものを活用する。(学研・ベネッセ・桐原 等)
- ②国語科の教師だけでなく、各教科担当者の指導力向上を図り、協力体制を作る。そのためには、職員研修会等を年に複数回実施する必要がある。
- ③国語の授業だけでなく、課題研究・総学の時間・補習などを練習時間として確保する。
- ④生徒を複数の班に振り分け、各自書いた小論文を班内で回覧・評価をさせ、共有を図る。その後、担当者が総合的な評価を行う。
- ⑤新聞記事一面のコラムは毎日欠かさず、時間を決めて読むようにする。また社説・論説にもできるだけ目を通すように薦める。毎日積み重ねることにより、国内外の課題を敏感に捉えることができ、今何が問題になっているのかなど、幅広く視野を広げることができる。小論文は、書く力があっても知識がなければ意味がない。

### (5) 読んでおきたい本の紹介

分野	書 名	著者名	出版社
経済系	弱者の居場所がない社会	阿部 彩	講談社
	(株)貧困大国アメリカ	堤 未果	岩波書店
	若者はなぜ「就職」できなくなったのか?	児美川 孝一郎	日本図書センター
	就活エリートの迷走	豊田 義博	筑摩書房
	ブラック企業	今野 晴貴	文藝春秋
	財政学から見た日本経済	土居 丈朗	光文社
	スラム化する日本経済	浜 矩子	講談社
	反貧困「すべり台社会」からの脱出	湯浅 誠	岩波書店
	ビッグイシュー突破する人びと 社会的企業としての挑戦	稗田 和博	大月書店
	経済成長という病 退化に生きる、我ら	平川 克美	講談社
	農業がわかること、 社会のしくみが見えてくる	生源寺 眞一	家の光協会
	規制緩和という悪夢	内橋克人と グループ 2001	文藝春秋
	地域再生の経済学	神野 直彦	中央公論新社
	〈地域人〉とまちづくり	中沢 孝夫	講談社
	経済成長がなければ私たちは豊かになれない のだろうか	C. ダグラス・ラミス	平凡社
	この世でいちばん大事な「カネ」の話	西原 理恵子	角川文庫



社会学系	軋む社会 教育・仕事・若者の現在	本田 由紀	河出文庫
	若者が無縁化する	宮本 みち子	ちくま新書
	希望難民ご一行様	古市 憲寿	光文社新書
	若者たちに何が起きているのか	中西 新太郎	花伝社
	差別の現在	好井 裕明	平凡社新書
	希望のつくり方	玄田 有史	岩波書店
	バカだけど社会のことを考えてみた	雨宮 処凛	青土社
	僕らはいつまで「ダメ出し社会」を続けるのか	荻上 チキ	幻冬舎
福祉系	風になる	東田 直樹	ビッグ イシュー日本
	こんな夜更けにバナナかよ	渡辺 一史	北海道新聞社
	当事者主権	中西 正司 上野 千鶴子	岩波書店
	介護保険 地域格差を考える	中井 清美	岩波書店
	福祉NPO 地域を支える市民起業	渋谷 智明	岩波書店
国際関係	フラット化する世界（増補改訂版上・下）	T. フリードマン	日本経済 新聞出版社
	競争と公平感	大竹 文雄	中公新書
	「正しい戦争」は本当にあるのか	藤原 帰一	ロッキング・ オン
	今こそアーレントを読み直す	仲正 昌樹	講談社 現代新書
	アジアの歩き方	野村 進	講談社
学際系	岩盤を穿つ	湯浅 誠	文藝春秋
	文明の災禍	内山 節	新潮社
	街場の五輪論	内田 樹 小田嶋 隆 平川 克美	平凡社
	子どもの貧困 日本の不公平を考える	阿部 彩	岩波書店
	プロメテウスの罫	朝日新聞 特別報道部	学研パブリッ シング
スポーツ系	底力	三浦 和良	PHP研究所
	上昇思考	長友 佑都	角川書店
	スポーツは「良い子」を育てるか	永井 洋一	NHK出版
	スポーツマンシップを考える	広瀬 一郎	小学館
	野茂英雄	ロバート・ ホワイティング	PHP研究所
医療	医療の限界	小松 秀樹	新潮社
	ボランティアナースが綴る東日本大震災	全国訪問ボランティア	三省堂

系		ナースの会キャンナス	
	誰が日本の医療を殺すのか	本田 宏	洋泉社
	救命	海堂尊編	新潮社
	崩壊する日本の医療	鈴木 厚	秀和システム
理系	生命と記憶のパラドクス	福岡 伸一	文春文庫
	エネルギー進化論	飯田 哲也	ちくま新書
	ルリボシカミキリの青	福岡 伸一	文藝春秋
	物理学者、ゴミと闘う	広瀬 立成	講談社
	科学者が人間であること	中村 桂子	岩波書店
人文系	ニッポン景観論	アレックス・カー	集英社新書
	たったひとつの「真実」なんてない	森 達也	ちくまプリマー新書
	それでも、日本人は「戦争」を選んだ	加藤 陽子	朝日出版社
	これからの「正義」の話をしよう	マイケル・サンデル	早川書房
	14歳の君へ どう考えどう生きるか	池田 晶子	毎日新聞社
法学系	ポピュリズムへの反撃	山口 二郎	角川グループパブリッシング
	憲法はむずかしくない	池上 彰	筑摩書房
	国家は僕らをまもらない	田中 理	朝日新聞出版
	思考停止社会	郷原 信郎	講談社
	独立国家のつくり方	坂口 恭平	講談社 現代新書
教育系	ドキュメント高校中退	青砥 恭	筑摩書房
	わかりあえないことから	平田 オリザ	講談社
	フィンランドの教育力	リッカ・バックラ	学研マーケティング
	「つなみ」の子どもたち	森健	文藝春秋
	キャリア教育のウソ	児美川 孝一郎	筑摩書房
その他	こころが折れそうになったとき	上原 隆	NHK出版
	13歳は二度あるか	吉本 隆明	大和書房
	ヒンシュクの達人	ビートたけし	小学館
	新13歳のハローワーク	村上 龍	幻冬舎
	みんなのなやみ	重松 清	新潮社
	傷つきやすくなった世界で	石田 衣良	日本経済新聞出版社
	大学生の学び・入門 大学での勉強役に立つ!	溝上 慎一	有斐閣
	大学論 いかに教え、いかに学ぶか	大塚 英志	講談社
	ガラスの地球を救え	手塚 治虫	光文社
	夜と霧	V・E・ فرانクル	みすず書房



高校・大学から仕事へのトランジション	溝上 慎一 松下 佳代 編	ナカニシヤ 出版
--------------------	------------------	-------------

学研「小論文を書くために読んでおきたい本 2016 年度入試版」より一部抜粋

## 5 進学をかなえるために

### (1) 大学受験にかかる費用

大学を受験するには、受験料の他にも志望校を絞り込むのに必要な情報収集や下見のための費用、模試や参考書代などがかかる。下の表は、志望校が決まって受験するまで必要最低限かかる費用である。受験料はセンター試験が 18,000 円(3 教科以上の場合)国公立大学の 2 次試験が 17,000 円また私立大学受験料は約 35,000 円となっている。最近ではセンター試験と一般の入試の両方を受験すると、センター試験利用入試が無料になるなど、実質的に受験料を安くする大学も増えているようである。

遠方の大学を受験する場合、交通費や宿泊費が必要になる。最近では優秀な受験生を全国から集めるために、「地方試験」を実施している大学・学部が多く見られる。私立大だけではなく、国公立大でも実施する大学が増えているので宿泊費や交通費を軽減することも可能である。

#### ◆ 受験料

入試方式	金額の目安
センター試験	3 教科以上 18,000 円
	2 教科以下 12,000 円
	※成績開示を希望する場合は、プラス 800 円
国公立大・2 次試験	1 校につき 約 17,000 円
私立大・一般入試 (歯学系・医学系除く)	1 校につき 約 35,000 円

※ センター試験、国公立大・2 次試験の受験料は平成 27 年度入試参考

※ センター試験の願書・国公立大の願書は基本的には無料だが、私立大の場合は願書を購入する費用として 1 校あたり 1,000 円前後必要。

### (2) 授業料等について

#### ① 初年度・在学中納入金のめやす

平成 26 年 4 月 1 日現在

区分	a 入学金	b 授業料 (年額)	c 施設設備費等	d 初年度合計 (a+b+c)	合計 (4 年間)
国立大学 〔佐賀大学〕	282,000 円	535,800 円	—	817,800 円	2,425,200 円
公立大学 〔長崎県立大学〕	353,000 円	535,800 円	—	888,800 円	2,496,200 円
私立大学 〔福岡大学〕	190,000 円	680,000 円	187,210 円	1,057,210 円	3,656,040 円

※ 在学中の授業料は、年度ごとに前期と後期に分けて支払うのが一般的である。

※ 上記の他に施設費や実習費、校納金、諸会費などが必要になることも多い。



②年間の生活費のめやす（大学昼間部：国立・公立・私立の全国平均）

区分	自宅	学寮	下宿・アパート・その他
食費	100,200 円	218,300 円	260,300 円
住居・光熱費	—	282,500 円	471,300 円
保健衛生費	45,300 円	41,500 円	44,700 円
娯楽・嗜好費	135,900 円	129,600 円	146,200 円
その他の日常費	152,800 円	159,400 円	172,500 円
合 計	434,200 円	831,300 円	1,095,000 円

日本学生支援機構「平成 24 年度 学生生活調査」より

③授業料の免除・減免について

国立大学には大学院・大学または学部を問わず、入学金免除・学費の全額、半額免除の制度がある。入学金免除の条件は以下のとおりである。

- A 経済的（負債等は除く）理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
- B 授業料免除申請前 6 ヶ月以内（新入学生に対する入学した日の属する期分については、入学前 1 年以内）において、学資負担者が死亡し、または学生もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
- C 上記 B に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由のある場合  
保護者も含めて学資の支弁に極めて困窮する学生が対象となる。

これに対して、学費減免は比較的認められやすい。家族全員の資産・収入が審査対象なのは同様であるが、結婚していたり、両親が扶養家族になっていたり独立生計者と明らかに認められれば、本人および配偶者の収入が審査の対象となる。この手続きは入学直後に行われるので、事前に問い合わせをしておくなど準備が必要である。全額免除は極めて少数で、学費支弁者が死去したり、前年度の収入が全くないか、それに近い状態でないと認められない大学も多い。半額免除は比較的認められることもある。

授業料の免除、徴収猶予および月割分納の申請については、年度中に 2 期（前期・後期）に分けて実施しており、前期については「入学手続の案内」で免除等の案内がある。後期からは各自で資料の配布期間に注意して手続きをしなければならない。

④奨学金制度・特待生制度について

大学進学費用をサポートしてくれるのが、奨学金や特待生制度である。奨学金は返還の義務がある「貸与」と、返還の義務がない「給付」とがある。奨学金の種類には様々なものがあるが、中でも利用者が多いのが「日本学生支援機構（JASSO）」の奨学金である。これは大学・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）および大学院で学ぶ人を対象とした国が実施する貸与型の奨学金である。現在、日本国内の奨学金を利用している人のうち、約 75%が日本学生支援機構の奨学金を利用している。

◆ 日本学生支援機構の奨学金

◇ 奨学金の種類と特徴

種 類	特 徴
第一種奨学金(無利子)	特に優れた学生及び生徒で、経済的理由により著しく修学が困難な人に貸与する。また、別に定める貸与基準(学力・家計・人物・健康)を満たすことが必要。 例) 申し込み時までの高校の成績が5段階評定で平均3.5以上など。
第二種奨学金(有利子)	在学中は無利息、卒業後は年3%を上限とする利息付きである。また、別に定める貸与基準(第一種よりも緩やか)を満たすことが必要。 例) 4人世帯・給与所得の場合、前年度の年収が1,124万円以下など。
入学時特別増額貸与奨学金(有利子)	第一学年(編入学時の入学年次を含む)において奨学金の貸与を受ける人は、希望により入学後第1回目の振込時に、10万円・20万円・30万円・40万円・50万円の中から選択した金額を増額して貸与を受けることができる。ただし、入学時特別増額貸与奨学金だけを申し込むことはできない。

※ 第一種奨学金と第二種奨学金をあわせて申し込むことも可能。

※ 第二種奨学金(入学時特別増額貸与奨学金を含む)の利率の算定方法については以下の2つの方式があり、申し込む際にいずれか一方を選択する。どちらの算定方法も利率は年3%が上限。

利率固定方式	将来、市場金利が上昇あるいは下降した場合でも、返還利率は変動しない。
利率見直し方式	将来、市場金利が上昇した場合、貸与終了時の利率より高い利率が適用される。また、逆に市場金利が下降した場合は、貸与終了時の利率より低い利率が適用される。

◇ 奨学金の募集時期

予約採用 (進学前の申し込み)	高校在学中(高校3年次)にあらかじめ奨学金を予約する制度。進学先が決まっていなくても申し込みができる。在学している高校等の奨学金窓口に申し込む。
在学採用 (進学後の申し込み)	進学してから申し込む制度。予約採用を申し込まなかった人も、予約採用で採用されなかった人も改めて申し込むことができる。



# ◇ 貸与月額と返還例

## i 第一種奨学金(無利子)〈貸与月額と返還例〉大学学部・貸与期間4年間(48ヶ月)

区分(貸与月数)		通 学	貸与月額	貸与総額	月賦金額	返還回数
大学4年間(48ヶ月)の例	国公立	自 宅	45,000 円	2,160,000 円	12,857 円	168 回(14 年)
		自宅外	51,000 円	2,448,000 円	13,600 円	180 回(15 年)
	私 立	自 宅	54,000 円	2,592,000 円	14,400 円	180 回(15 年)
		自宅外	64,000 円	3,072,000 円	14,222 円	216 回(18 年)
	国公立立自宅外共通		※30,000 円	1,440,000 円	9,230 円	156 回(13 年)

※ 貸与月額は学校の種類(大学・短期大学・専門学校など)や国公立・私立、進学形態によって定められているが、これらにかかわらず3万円の貸与月額を選択することもできる。

## ii 第二種奨学金(有利子)〈貸与月額と返還例〉大学学部・貸与期間4年間(48ヶ月)・利息3%の場合

各自で選択	貸与月額	貸与総額	返還総額	月賦金額	返還回数
	30,000 円	1,440,000 円	1,761,917 円	11,293 円	156 回(13 年)
	50,000 円	2,400,000 円	3,018,568 円	16,769 円	180 回(15 年)
	80,000 円	3,840,000 円	5,167,586 円	21,531 円	240 回(20 年)
	100,000 円	4,800,000 円	6,459,510 円	26,914 円	240 回(20 年)
	120,000 円	5,760,000 円	7,751,445 円	32,297 円	240 回(20 年)

# ◇ 各大学独自の奨学金

入試や入学後の学内奨学金選考試験での成績優秀者を対象にした給付型の奨学金や、経済的理由で就学困難な学生を対象とした奨学金(給付・貸与どちらの場合も有)がある。大学によって、独自の奨学金制度があるところや返還の必要がない給付制奨学金を扱うところもあるので、事前に確認が必要である。給付額は大半が「授業料相当」で、募集の規模や審査基準などは大学や目的によってことなるが、基本的には入試での成績上位者が対象となる。一年後に成績優秀であれば次年度も延長するというシステムをとられることが多い。

# ◇ 特待生制度

特待生制度とは、入学試験の成績が優秀な学生に対して、大学が学費の一部または全額を免除する制度である。特待生の選抜方法には主に次の2種類がある。ひとつは一般入試の合格者の中から成績上位者を選抜するもの、もうひとつは一般入試とは別に特待生を希望する学生向けの試験を実施し、合格者をすべて特待生として受け入れるものである。また、新入生だけでなく在校生向けの制度を用意している大学もあるため、志望している大学のWebサイトを利用するなどして詳しい情報を得ることも必要である。

#### ◇ 地方自治体の奨学金

貸与・給付のどちらの場合もある。都道府県や市町村などが設けており、その地域に保護者または本人が住んでいることが応募の条件である。金額や居住年数の条件は自治体ごとに異なる。一般的に、地方自治体の奨学金制度は貸与：月額 20,000～40,000 円前後、給付：3,000～20,000 円前後のところが多い。他の奨学金と併用ができないことがあるため、確認が必要である。

#### ◇ 民間育英団体の奨学金

企業や個人が設置する奨学金で各団体によって応募基準や条件は様々である。金額は貸与・給付どちらの場合でも、月額あたり 25,000～50,000 円前後が一般的である。大学を通じて募集をすることが多く、各大学から推薦された学生を育英団体が審査し決定する。また、給付型の場合は、学業成績の基準がかなり厳しいことが特徴である。



※ 記入の際には、HB以上の鉛筆またはボールペンを使って記入してください。

①合否（ 合 ・ 否 ） ②評定平均値（ ） ③センター試験得点（ ）点

## 2016年度入試 受験レポート

受験校	佐賀 大学	経済 学部	経営 学科	専攻 コース
	短期大学(部)			
	専門学校			

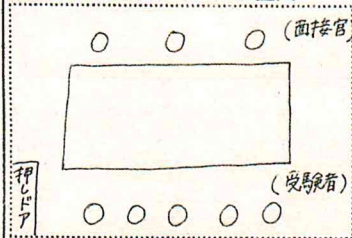
↓太枠の中は、必ず記入してください(記入モレがないようにしてください)。

<b>1. 入試方式名・日程名を記入してください。</b> 例：前期、推薦入学Ⅰ、AOⅡ期 入試方式名・日程（ 公募推薦 ）		<b>2. 受験した日付を記入してください。</b> ●試験日 H27 年 11 月 27 日		<b>3. センター試験の有無に○をつけてください。</b> ●センター試験 有 (無)	
<b>4. 該当する入試に○をつけ、推薦入試についてはその内容を記入してください。</b> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input type="checkbox"/> 1: 推薦入試  <input type="checkbox"/> 2: AO入試  <input type="checkbox"/> 3: 一般入試         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>推薦入試の場合、該当する推薦入試の内容に○をつけてください。</p> <p><b>&lt;推薦入試の推薦内容&gt;</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input type="checkbox"/> 公募制推薦  <input type="checkbox"/> 自己推薦  <input type="checkbox"/> その他( )         </div> <div> <input type="checkbox"/> 指定校推薦  <input type="checkbox"/> スポーツ推薦         </div> </div> <p><b>&lt;地域が指定されている推薦の場合&gt;</b></p> <input type="checkbox"/> 地域指定推薦 (例：県内、県外)         </div> </div>		<b>5. 専門高校(工業科、商業科、農業科、総合学科など)に通っている場合は、次のいずれかを選択してください。</b> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input type="checkbox"/> 専門学科枠推薦を受験した  <input type="checkbox"/> 専門学科枠推薦ではない         </div> </div>			
<b>6. 受験科目(受験に使用したもの)に○を記入してください。</b> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input type="checkbox"/> 面接・口頭試問  <input type="checkbox"/> 適性検査         </div> <div> <input type="checkbox"/> 小論文・作文  <input type="checkbox"/> 実技         </div> <div> <input type="checkbox"/> 書類審査(調査書・志望理由書・作文など)  <input type="checkbox"/> グループ討議・ディスカッション         </div> <div> <input type="checkbox"/> 教科試験(教科: )  <input type="checkbox"/> 他( )         </div> </div>					

### 面接

⑥面接や口頭試問で質問された内容や特徴、または回答の時に工夫したこと・気をつけたことなどを記入してください。

- ①形式：個人面接・グループ面接  
 ②面接の時間：( 30 )分  
 ③面接官の人数：( 3 )人  
 ④受験者の人数：( 5 )人  
 ⑤面接会場の机やイスの配置図



- ・ 受験番号、出身校、名前 ) この質問は 続けてされました。
- ・ 志望動機
- ・ 夫婦別姓制度について
- ・ 何かつけ加えることはありますか？(挙手制)  
(志望動機や夫婦別姓制度について、  
ここで自己PRを混ぜてもいいと思います。)
- ・ あなたの趣味とその理由を簡潔に

最初は質問する内容を言われ、口頭試問は最初に2回 全員が志望動機まで言い終わるまで一度説明されました。他の人が志望動機を言っている間に口頭試問を考へる時間がないので、自分の考えをしっかりとまとめることが大切だと思いました。

面接官の先生方が雑談をまじえてくださったり、後で付け加えがあればまた聞くので緊張しないで大丈夫ですとあってくださったり、堅固い面接ではないので、自信をもって、話さないと話せば大丈夫です。

### 小論文・作文

- ①試験時間 ( 90 )分  
 ②字数 ( 250, 250, 500 )字  
 ③小論文のテーマ・出題内容・出典など

- 問題1. 課題文1の下線部(1)「バランスの取れた電源構成」とは何から本邦に即して具体的に250字以内で説明しなさい。
- 問題2. 課題文2の下線部(2)「今と同じ生活のレベル、今と同じ経済活動を維持しながら、電力消費を20%減らすことは物理学ではありせん」とはどういうことか。本文に即して250字以内で説明しなさい。
- 問題3. 課題文2の下線部(3)にある「エネルギーシフト」という構想の実現可能性について、課題文1・2を参照して、あなたの意見を500字以内で述べなさい。ただし、この構想が実現可能か否かを明確に述べなさい。

### 実技

- ①試験時間 ( )分  
 ②実技の内容(器具の配置や課題の内容・特徴)

- 課題文1 経済産業省  
 「長期エネルギー需給見通し」  
 2015年7月
- 課題文2 飯田哲也  
 「エネルギー進化論」ちくま新書  
 2011年  
 (問題作成のため一部を改変した。)

### その他試験

- ①試験時間 ( )分  
 ②試験の内容

### あなたにとっての 受験校の魅力・良いところ

- ・ 学費が安い
- ・ 入りやすい

### 後輩へのアドバイス

- ・ やっておいで得したこと、やっておけば良かったと思うこと
- ・ 受験に役立つ資格・検定(簿記、情報処理、GTECスコア等)
- ・ この学校を目指す後輩へのメッセージ
- ・ 小論文はさまざまなテーマについて耳より組んでおくといいと思います。
- ・ 面接はグループによって違いますが、2時間ぐらい待つことも覚悟しておいた方がいいと思います。また、挙手制のときは積極的にアポイントすべきだと思います。
- ・ 口頭試問において、社会問題や経済ニュースなどに注目して見た方がいいと思います。

以下には何も書かなくて大丈夫です。



※ 記入の際には、HB以上の鉛筆またはボールペンを使って記入してください。

① 合否 ( 合 ・ 否 ) ② 評定平均値 ( ) ③ センター試験得点 ( ) 点

## 2016年度入試 受験レポート

受験校	福岡 大学	経済 学部	経済 学科 課程	専攻 コース
	短期大学(部)			
	専門学校			

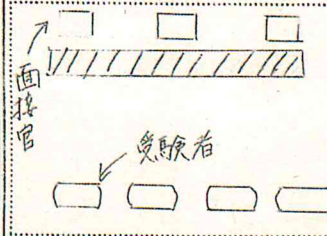
↓ 太枠の中は、必ず記入してください(記入モレがないようにしてください)。

<b>1. 入試方式名・日程名を記入してください。</b> 例: 前期・推薦入学Ⅰ、AOⅡ期 入試方式名・日程 (B方式推薦入試)		<b>2. 受験した日付を記入してください。</b> ● 試験日 27 年 11 月 28 日		<b>3. センター試験の有無に○をつけてください。</b> ● センター試験 有 無	
<b>4. 該当する入試に○をつけ、推薦入試についてはその内容を記入してください。</b> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 1: 推薦入試  <input type="checkbox"/> 2: AO入試  <input type="checkbox"/> 3: 一般入試         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>＜推薦入試の推薦内容＞</b>  <input checked="" type="checkbox"/> 公募制推薦    <input type="checkbox"/> 指定校推薦  <input type="checkbox"/> 自己推薦    <input type="checkbox"/> スポーツ推薦  <input type="checkbox"/> その他 ( )  <b>＜地域が指定されている推薦の場合＞</b>  <input type="checkbox"/> 地域指定推薦 (例: 県内、県外)         </div> </div>		<b>5. 専門高校(工業科、商業科、農業科、総合学科など)に通っている場合は、次のいずれかを選択してください。</b> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <input type="checkbox"/> 専門学科枠推薦を受験した  <input type="checkbox"/> 専門学科枠推薦ではない         </div>			
<b>6. 受験科目 (受験に使用したもの)に ○ を記入してください。</b> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 面接・口頭試問    <input checked="" type="checkbox"/> 小論文・作文  <input type="checkbox"/> 適性検査    <input type="checkbox"/> 実技         </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 書類審査 (調査書・志望理由書・作文など)  <input type="checkbox"/> グループ討議・ディスカッション         </div> <div> <input type="checkbox"/> 教科試験 (教科: )  <input type="checkbox"/> 他 ( )         </div> </div>					

### 面接

⑥ 面接や口頭試問で質問された内容や特徴、または回答の時に工夫したこと・気をつけたことなどを記入してください。

- ① 形式: 個人面接 (グループ面接)  
 ② 面接の時間: ( 30 ) 分  
 ③ 面接官の人数: ( 3 ) 人  
 ④ 受験者の人数: ( 4 ) 人  
 ⑤ 面接会場の机やイスの配置図



・ 志望動機 ・ 合格したら必ず入学するか  
 ・ 高校3年間、勉強以外で頑張ったこと  
 ・ プロサッカー選手と経済学がどのようにつながっているか  
 ・ 今回の作文のお題について予測していたか  
 ・ 最後一言 ・ 好きな教科とその理由

### 小論文・作文

- ① 試験時間 ( 60 ) 分  
 ② 字数 ( 600 ) 字  
 ③ 小論文のテーマ・出題内容・出典など

高等学校の数学Ⅰや数学Ⅱでは三角関数を学ぶ。  
 三角関数を学ぶことがあなたの今後の人生において役に立つのかどうか。理由や根拠とともにあなたの考えを述べなさい。

### 実技

- ① 試験時間 ( ) 分  
 ② 実技の内容 (器具の配置や課題の内容・特徴)

### その他試験

- ① 試験時間 ( ) 分  
 ② 試験の内容

### あなたにとっての 受験校の魅力・良いところ

2万人の学生が集う総合大学で、数多くの人から刺激を受けられること。

### 後輩へのアドバイス

- ・ やっておいで得したこと、やっておけば良かったと思うこと
- ・ 受験に役立った資格・検定 (簿記、情報処理、GTECスコア等)
- ・ この学校を目指す後輩へのメッセージ

面接官はみんな優しく話しやすい。  
 志望理由書について、つっこまれる。  
 作文の内容も つっこまれる。(詳しく聞かれる)

以下には何も書かないでください。